

第11回

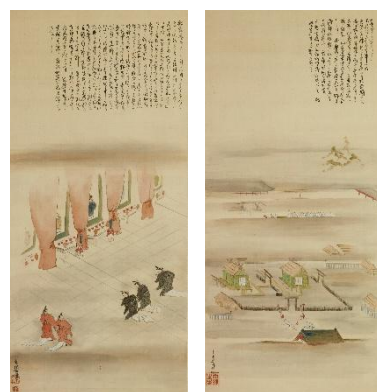
聖光文庫文化講座

テーマ

富岡鉄斎と平安時代

講師 梶岡 秀一 氏（京都国立近代美術館 学芸課長）

筑波大学芸術専門学群卒業。愛媛県歴史文化博物館学芸員、愛媛県美術館専門学芸員等を経て現職。専門は日本近代美術。2024年、京都国立近代美術館・富山県水墨美術館・碧南市藤井達吉現代美術館開催の「没後100年 富岡鉄斎」展を企画。昨年度の第10回聖光文庫文化講座では、「富岡鉄斎とやまと絵—篆刻家・羽倉可亭の関係資料とともに—」というテーマで講演、好評を博す。



（左）釈奠図（右）大嘗会図

日時

令和7年12月7日（日）

午後1時30分～3時（終了予定）／受付：午後1時10分～

場所

宝塚市立中央図書館（阪急宝塚線 清荒神駅前）2階集会室

申込

令和7年11月3日（月・祝）～

WEB・中央図書館窓口・電話にて受付（先着順）

※定員70名（自由席）・聴講無料

主催：鉄斎美術館・宝塚市立中央図書館（聖光文庫）／後援：清荒神清澄寺

鉄斎美術館・宝塚市立中央図書館聖光文庫 共催企画展

聖光文庫開設50周年記念

「富岡鉄斎の画の源泉—愛蔵書画・拓本に探る—」

2025年12月7日（日）～2026年2月15日（日）

宝塚市立中央図書館 聖光文庫《入場無料》

休館日：水曜日、第2金曜日、年末年始（12月29日～1月3日）

開室時間：午前10時～午後5時

第 11 回聖光文庫文化講座 推薦図書

- ・『幕末の宮廷』下橋敬長述 羽倉敬尚注 平凡社東洋文庫 1979 年
- ・『車折神社御祭神八百年祭記念 車折神社〈車軒文庫〉所蔵 富岡鉄斎展』原田平作監修 読売新聞大阪本社 1988 年
- ・「鉄斎の粉本：画想の源泉・模写」出品目録 奥田素子著 清荒神清澄寺 鉄斎美術館 2006 年
- ・「鉄斎の大和絵」出品目録 村越英明著 清荒神清澄寺 鉄斎美術館 2007 年
- ・『京都「千年の都」の歴史』高橋昌明著 岩波新書 2014 年
- ・『平安人物志』上・下 角田文衛著 法蔵館文庫 2020 年
- ・『岸田劉生のあゆみ』梶岡秀一，岸田夏子著 新潮社 2022 年
- ・『没後 100 年 富岡鉄斎』梶岡秀一，細里わか奈，毎日新聞社編 毎日新聞社 2024 年



宝塚市立中央図書館 聖光文庫

宝塚市立中央図書館特別閲覧室「聖光文庫」には、美術史、絵画、書、彫刻、工芸などの貴重な美術関係の図書が集められています。清荒神清澄寺のご厚意により同寺境内にある鉄斎美術館の入館料によって購入された図書の寄贈を毎年受けており、現在、約 17,100 点所蔵しています。展示コーナーでは国宝・重文の絵画の複製や四季折々の掛幅などを展示しています。入場・閲覧は無料です。

鉄斎美術館「聖光殿」

鉄斎美術館「聖光殿」は、清荒神清澄寺第37世法主光浄和上の理想とその遺志を継承して、約一世紀にわたって蒐集されてきた画聖・富岡鉄斎の作品を広く公開展示するために、第38世法主光聰和上が昭和50年(1975)4月、清荒神清澄寺の境内に開館しました。

清荒神清澄寺所蔵の鉄斎作品は絵画、書をはじめ、鉄斎が絵付を施した器物、或いは手造りの陶器など器玩と呼ばれるものや、先人の構図、筆法などを学びとるために鉄斎が模写した粉本など多岐にわたり、晩年の傑作を中心に2,000余点を数えます。展覧会は鉄斎美術館「聖光殿」と別館「史料館」の各会場で年2回の企画展をお楽しみいただけます。



—申し込み方法—

①WEB でのお申込み

QR コードから
申込みページに
アクセスの上、
お申し込みくだ
さい



②中央図書館窓口でのお申込み

午前 9 時半～午後 6 時受付
休館日（水曜・第 2 金曜）は除
く※下記の申込用紙に記載の上、
切り離さずにお出してください

③電話でのお申込み

宝塚市立中央図書館
TEL：0797-84-6121
午前 9 時半～午後 6 時受付
休館日（水曜・第 2 金曜）は除く

キリトリ

「第 11 回聖光文庫文化講座」聴講申込用

(ふりがな)	(ふりがな)
氏 名	同伴者氏名
電話番号	メールアドレス

※ご記入いただいた個人情報は、この講座の目的以外に使用することはありません